令和４年４月

くすの木通信

三高だより第 186 号

「歩きながら考える」

校長　鈴木　斎

新しい学年、新しい仲間たち、新しい先生たち。これまでとは異なる環境の中に身を置いている皆さんは、大きな期待と不安を同時に感じながら、毎日を過ごしていることと思います。そんな皆さんに、ある生徒と先生のやり取りを紹介します。

「どうなるんでしょう、これから」

生後５ヶ月で眼病を患い３歳で右目、９歳で左目を失明し、18 歳のときに特発性難聴で失聴し、全盲ろう者になったある青年が、担任の先生に投げかけた問いかけです。当時盲学校の高等部３年生であった彼は、視力だけでなく聴力をも失ってしまい、「授業はどうすればいいのか？」「友達との関係はうまくいくだろうか？」「卒業できるのか？」「大学進学は？」等々のいくら考えても答えの見えない不安をたくさん抱えていました。

「うまくいかなければ、またその時考えればいいさ。とにかく一歩踏み出す、歩きながら考える。それしかないよ」

上記の問いかけに対して、彼の担任の先生が答えたものです。彼はその言葉に背中を押され、盲学校を卒業し大学に進学。その後研究者としての道を歩き続け、現在は大学教授、バリアフリー研究者として活躍されています。

最後に、漫画「ONE PIECE」の中で、白ヒゲ海賊団 VS 海軍の頂上決戦の末、エースを目の前で喪ったルフィが心身ともに疲弊していた時に、ジンベエが諭した時のセリフを皆さんに贈ります。

「失ったものばかり数えるな。ないものはない。お前にまだ残っておるものはなんじゃ？」

新任の教職員を御紹介します

福井（ふくい） 聡（さとし）（国語）	今井（いまい） 諒（りょう）（地歴公民）	森脇（もりわき） 由衣（ゆい）（数学）	門田（かどた） 響平（きょうへい）（数学）
秦（はだ） 一博（かずひろ）（芸術）	岡内（おかうち） まどか（英語）	小倉（おぐら） 一哲（いってつ）（家庭）	豊田（とよた） 夢叶（ゆめか）（養護）
津乗（つのり） 健一（けんいち）（主任業務員）			

この「くすの木通信」は、教室掲示、ホームページ掲載、Teams 配信によって発行（不定期）する予定です。是非、御一読いただき、学校への御理解、御協力をいただきますようお願いいたします。

【総務課】